

平成27年10月28日 NO・76

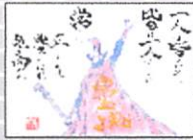
〒311-1114 水戸市塩崎町1016  
TEL029-269-2116 FAX029-269-3160  
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】



# スピリット

## 常中魂



### 日本のJUNIORが実物学習

実物で学ぶ。  
教科書の写真だけでは分からない情報が、実物からは伝わってくる。

実際の目で見えた姿、臭い、色、触ったときの感触とともに、知識が実感を伴って直接、脳に届く。

10月22日(木)、2年生の理科の授業で(三上辰彦先生担当)、実物のイカの解剖が行われた。解剖しながら、イカの体のつくりを学ぶ。

教室内の、どの生徒も身を乗り出して学習に集中していた。やはり、「実物をもつ力はすばらしい。」と感じられた。

ところで、このような学習では、教科の学びだけでなく、隠れてはいるが、大切な影の学びが行われている。

それは、「生き物の命をいただいている」という、謙虚な気持ちを持ち、生き物への感謝の心を自覚する」という、日本人としての心の在り方についての学び。

そして、もう一つ「仲間への気遣い」という学び。

自分が学べればよい、自分が楽しければよい、自分だけ触れればよい、ということではない。

生き物への気遣い、仲間への気配りをも学んでいる姿が、下の写真からも感じられる。



## 常中ソフトボール部 経験値を大幅にアップする



27日(火)、ソフトボール部が県大会に出場した。明野中戦が行われ、結果は12対14で惜敗に終わったものの、そこから得られたものも大きかったようだ。帰校後、部長の郡司彩乃さんから、「劣勢の状況から、大量の点を取る力が自分たちにはある。だからこそ、今日のこの悔しさを、次に活かす努力をしていきたい。」と、大会の結果報告とともに、今後自分たちがどのように部活に取り組みむかについて、前向きで、力強い決意表明が聴かれた。彼女たちなら、負けの悔しさを、次に活かしてくれるだろう。がんばれ、常中ソフトボール部、そして、ご苦労様でした。

ソフトボール部の部員たちが、県大会の結果報告のため職員室に入ってきました。彼女たちの目には涙が溢れています。部長の郡司彩乃さんは、涙をこらえ職員室で結果報告してくれました。あと一歩というところで勝利をつかめなかったという悔しさと、「この敗北を絶対に次に活かしてみせる」という決意が感じられる、すばらしい挨拶でした。郡司さんの話を聞きながら、昔どこかで読んだ話を思い出しました。「ヨシちゃん」と呼ばれていた少年の話です。

ヨシちゃんは、宮崎駿監督のアニメ『もののけ姫』が出てきそうな山奥の小さな集落で生まれました。生まれたときのヨシちゃんの頭は、なぜだか腫れて柔らかく、眼球は安定せず、乳を吸う力も大変に弱かったそうです。なぜこのようなのか、病院でも原因が分かりませんでした。ヨシちゃんは骨がもろく、ちょっとした力が加わると音を立てて折れてしまいました。幼少期には数え切れないほど骨折を繰り返しました。骨折をするほどに激痛が走り、本人も苦しんだそうですが、それを見ていた両親も、祖母もヨシちゃんが不憫で

ならなかったといひます。そんなヨシちゃんですが、大人も驚くような才能が一つありました。それは、歌声でした。歌のうまさも誰かが称賛しました。村祭りや宴会があるとヨシちゃんの歌はスターになりました。ヨシちゃんの歌を聴くために、村人たちがこぞって集まってきました。

小学校に入る頃、病名が分かりました。先天性骨形成不全症。2万人に一人の割合で発症する原因不明の難病だそうです。骨が折れやすく、なかなか身長が伸びません。4年生になるころ、骨折は少なくなくなってきました。その後も入院を繰り返してはきましたが、努力して音楽大学に進学しました。

日本を代表するテナー歌手、米良美一さんの話です。私自身は、この話を聞いたとき、宮崎駿監督の『もののけ姫』の主題歌を歌って一躍有名になった、ということぐらいしか知りませんでしたので、彼の過去に驚き、彼の気持ちの強さに感動しました。

現在、様々な経験を積んできた米良さんはこう言っています。「今度生まれ変わるとしたら、

声はそのまま、身長は180センチくらいで生まれてきたい、なんて虫のいいことを考えています」「でも、こんな体に生まれてきたのは、もしかしたら、僕自身が昔、『神様、今度生まれ変わる時は、あえて重い障害を背負って、そして苦しい生活をしている両親に生まれてみたいのです。そういう中で僕は親に孝行し、幸せをつかんでみせます。それが僕の魂を鍛えるの一番いいと思いますから」と願ったんじゃないかと思っているんです。そしたら自分の人生、恨まれませんよね。むしろ今はこの体、そしてこの自分を、心から愛しく思えるのです」

人生は、勝利の連続ということはありません。むしろ、負ける経験の方が多いはずです。大切なのは、その負けの経験を次に活かす強い心、前向きな考え方だと思います。郡司さんたちソフトボール部の皆さんの言葉の中に、負けの経験を、次の勝利に向けた経験値とするために、前に踏み出そうという力強さを感じることができました。この心があれば、必ず成長できます。

がんばれば常中の生徒たち、皆が応援しています。

